

2001年5月31日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

**光ファイバ用のケーブルテスタ・アダプタ「OMNIFiber<sup>SM</sup>」を国内発売開始  
～長距離のファイバケーブルを瞬時にテスト可能～**

## 記

LAN テスタ大手のマイクロテスト社 (MicrotestR, Inc、米アリゾナ州、米ナスダック上場: MTST) では、UTP 用の LAN テスタに接続するだけで、光ファイバケーブルのケーブル長、損失、遅延をテストできる光ファイバアダプタ「OMNIFiber<sup>SM</sup>」を米国にて発表しました。マイクロテスト社では、本製品を7月2日(月)より日本国内で出荷開始します。販売は、日本国内でマイクロテスト社と販売代理契約を結び Microtest サポートセンターを完備している株式会社ネットワークバリューコンポネンツ (本社: 神奈川県横須賀市、代表: 渡部進、以下略称: NVC) などを通じて行います。NVC では、初年度の販売台数見込みを、500 台としています。

「ブロードバンド時代」の到来を迎え、各方面で積極的な光ファイバケーブルの導入が進んでいます。今回発売される「OMNIFiber<sup>SM</sup>」は、マイクロテスト社の UTP 用高性能テスタ「OMNIScanner シリーズ」に接続させて使用するシングルモード (注釈) 用の光ファイバアダプタです。1310nm と 1550nm の双方のシングルモードファイバの波長に対応しており、ケーブル長、損失、遅延をワンタッチで2本同時に測定します。測定結果は、このアダプタを接続させる OMNIScanner 本体に保存でき、それを PC 上でデータ管理することも可能です。

光ファイバの接続システムは現在、ST、SC、LC、FC、MTRJ などさまざまな基準があります。「OMNIFiber<sup>SM</sup>」の最大の特長は、交換可能なコネクタ・アダプタ形態を採用している点で、今後新たな光ファイバが登場しても柔軟に対応することが可能です。また、UTP 用の「OMNIScanner シリーズ」へ接続するため、UTP、光ファイバの試験データを同時に一括してデータ管理 (データ管理ソフトは HP 上にて無料配布) しておくことが可能なため、ネットワーク技術者には非常に便利なテストツールといえます。既に販売している「OMNIFiber」に合わせて、マルチモード (注釈) を含むあらゆるファイバケーブルの測定が可能となります。

NVC は、ネットワーク関連のトータルなソリューションベンダです。米アデロや米インクトゥミなど先端の技術を使用したウェブソリューション初め、高いレベルでのネットワークソリューションを提案しています。光ファイバ関連では、2000年7月からイスラエル・ファイブロン社 (FibroLAN. Ltd) の本格的な多ポートファイバ・メディアコンバータの販売しており、光ファイバのネットワーク構築を各方面から支援しています。マイクロテスト社製品の販売代理契約は1991年から行っています。

今回、本製品の発売に先駆け、マイクロテスト社と NVC の共同ブースとして6月6日 (水) より開催される「NetWorld+Interop 2001 Tokyo/千葉県幕張メッセにて開催、主催: NetWorld+Interop 2001 Tokyo 実行委員会」の展示会に出展します。ブースは3D27となります。

## 注釈

- シングルモード光ファイバ：コアの直径が約  $10\mu\text{m}$  のもので波長は  $1310\text{nm}$  と  $1550\text{nm}$ 。長距離に適する。
- マルチモード光ファイバ：コアの直径が  $50/62.5\mu\text{m}$  のもので、波長は  $850\text{nm}$  または  $1300\text{nm}$ 。最大で約  $500\text{m}$  までの近距離に適する。

## 新製品概要

製品名	OMNIFiber <sup>SM</sup>
希望小売価格	オープン価格
寸法 (cm)	9×9.85×3.94
重量 (g)	110
テスト機能	シングルモードファイバ：長さ、伝播遅延、損失
光学測定	+3dBm ~ -55dBm .01db 解像度 +/- .25db 代表的な精度
長さ	最大 16,000m (52,500ft) 解像度 1m (2000mまで)
解像度	2m (2000m~16,000m)
遅延	0~80,000nS 解像度 1nS (0-10,000nS) 解像度 8nS (10,000-80,000nS)
ケーブル規格	TIA 568B ISO 11801 EN 50173
ネットワーク仕様	ATM-155/ATM-155 SWL/ATM-622/FDDI/100Base-F/10Base-FL 10Base-FB/ トークンリング/イーサネット/ファイバチャネル 1000Base-SX/ 1000Base-LX
交換可能なコネクタ形状	ST, SC, FC, LC, MTRJ

## 「OMNIFiber SM」が接続可能な「OMNIScanner シリーズ」について

「OMNIScanner シリーズ」は、マイクロテスト社の高性能 UTP 用 LAN テスタです。日本だけでなく、世界各国のユーザーから好評を博しています。特に、カテゴリ 6 対応機「OMNIScanner2」は、世界でナンバーワンのシェアを誇り、米国市場は 50 パーセント以上のシェアを占めています。「OMNIScanner2」は、エンハンストカテゴリ 5E、カテゴリ 6、カテゴリ 7 の認証テストが、最大 300MHz まで測定できます。そのため、この 1 台で、すべての UTP 配線の LAN テストが可能です。また、「OMNIScanner2」は、このクラスのテスタで唯一、ETL（第三者認証機関）から完全認証を受けており、実験室などで使用するネットワークアナライザと同等の精度と正確性が保証されています。

### 【マイクロテスト社 (MICROTEST) 会社概要】

マイクロテスト社 (Microtest Inc. 米アリゾナ州、フェニックス) は、ケーブルテスタを中心に、CD ポートサーバなどのネットワーク機器を開発し、ワールドワイドに販売しています。ケーブルテスタについては世界最大のシェアを誇ります。

設立	1984
本社	アメリカ合衆国、アリゾナ州フェニックス
支社	イギリス Crawley/ドイツ Munich/シンガポール 他
上場市場	アメリカ ナスダック (MTST)
従業員	210 名
売上	4000 万 US ドル

## テスタ製品沿革

- 1986 タイムドメイン方式のケーブル測定器を開発（特許：TDR方式）
- 1988 世界初のハンディタイプケーブルテスタ Cable Scanner を発表
- 1989 初のUTPケーブルテスタ Pair Scanner を発表
- 1992 NEXT（近端漏話）測定を可能に。FlashROMテクノロジーを採用
- 1993 業界初のCat5認証テスタ Penta Scanner を発表
- 1994 業界初の双方向認証テスタ Penta Scanner/2Way を発表
- 1995 特許であるノイズ（クロストーク）キャンセラをテスタに採用
- 1996 パフォーマンスをグループ分けできるテスタ Penta Scanner350 を発表
- 1997 光ケーブル認証ツール CertiFiber を発表
- 1998 業界初のCat5E/6/7認証テスタ OMNIScanner を発表
- 1999 初の光ケーブル、シングル/マルチ認証ツール OMNIFiber を発表
- 1999 特許の S-Band テクノロジーを採用し、タイムドメイン方式でケーブルの故障箇所検出機能を OMNIScanner に常備 - TDRL、TDNXT
- 1999 光ケーブル簡易テスタ SimpliFiber を発表
- 1999 OMNIScanner2 を発表、MMC（メモリーカード）、USBポートを装備
- 2000 OMNIScanner2 が第三者機関 ETL の認証をこのクラスのテスタとして初めて受ける
- 2000 ケーブルテスタで10万台の出荷を達成

以 上